

ディン・Q・レ展：明日への記憶

2016年3月19日(土)～5月15日(日)

世界でもっとも活躍するベトナム人アーティスト、待望の個展！

カンボジアとの国境に近いベトナムのハーティエンに生まれたディン・Q・レ(1968年-)は、クメール・ルージュ(ポル・ポト派)の侵攻を逃れるため、10歳の時、家族とともにアメリカに渡りました。大学で写真とメディア・アートを学んだ後、ベトナムの伝統的なゴザの編み方から着想を得た「フォト・ウィービング」シリーズを発表し、一躍注目を集めます。ハリウッド映画のイメージやベトナム戦争の報道写真などを裁断し、異なるイメージを幾層にも編み上げたこれらの作品は、幼い頃にベトナムを離れ、アメリカ文化の影響を受けて育った自らのアイデンティティの問題に根ざしたものでした。

さらに国際的な評価を高めた作品《農民とヘリコプター》(2006年)では、自作のヘリコプターの開発に挑戦するベトナム人男性を中心に、ヘリコプターへの思いを語る人々のインタビューと、ハリウッド映画や報道フィルムから集めたベトナム戦争の映像を組み合わせ、ベトナム人と戦争との複雑な関係を描き出しました。現在はホーチミンを拠点に、綿密なリサーチとインタビューに基づいた映像インスタレーションを通して、人々が実体験として語る記憶に光をあてながら、戦争や移民の問題を独自の視点で扱った作品を制作しています。

歴史の陰で語られることのなかった物語

ー ディン・Q・レの作品を通して世界を読み直す

ベトナム戦争終結から40年、そして日本にとっては戦後70年を経た今、見えない力によって世界が再び戦争への道を進むことのないように、戦争がもたらした様々な問題についてもう一度深く考えることが求められています。本展では、ディン・Q・レの創作活動を通して、これまで記録された歴史の陰で語られることのなかった個人の記憶に耳を傾け、私たちひとりひとりのこれからについて考えます。

開催概要

- | | |
|--------|--|
| 【会期】 | 2016年3月19日(土)～5月15日(日) |
| 【開館時間】 | 10:00-17:00
※入場は閉館30分前まで |
| 【休館日】 | 月曜日(ただし3月21日(月・休)を除く)、3月22日(火) |
| 【観覧料】 | 一般 1,030(820)円、大学生 720(620)円、高校生・65歳以上 510(410)円 ※()内は前売りおよび30人以上の団体料金
※中学生以下無料 ※5月5日(こどもの日)は高校生無料 |
| 【主催】 | 広島市現代美術館、中国新聞社 |
| 【後援】 | 広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送 |
| 【企画協力】 | 森美術館 |

関連プログラム

アーティスト・トーク

ディン・Q・レが自らの創作活動について語ります。

2016年3月19日(土) 14:00-15:30

会場/地下1階ミュージアム・スタジオ

※要展覧会チケット(半券可)、事前申込不要、通訳あり



《無題(パラマウント)》2003
Collection: Ann and Mel Schaffer Family, New York
写真提供: ベルビュー美術館、ワシントン



《農民とヘリコプター》2006
Collaborating Artists: Hai Quoc Tran, Le Van Danh, Phu-Nam Thuc Ha, Tuan Andrew Nguyen
Commissioned by Queensland Gallery of Modern Art, Australia
展示風景: 「リフレクション: アートに見る世界の今」堂島リバービエンナーレ2009、大阪
写真: 福永一夫



《おかえりなさい、サイゴンへ(「ミレニアムにはベトナムへ」シリーズより)》2005
Courtesy of Elizabeth Leach Gallery, Portland



《傷ついた遺伝子》1998
Commissioned by The Gunk Foundation, New York

作家略歴

ディン・Q・レ

1968年、ベトナム、ハーティエン生まれ。ホーチミン在住。1978年、家族とともにアメリカへ移住。1989年、カリフォルニア大学サンタバーバラ校にて美術学士課程修了、1992年、ニューヨーク視覚芸術学校美術修士課程修了。

主な個展にシャーマン現代美術基金(シドニー、2011年)、ニューヨーク近代美術館(2010年)、タフツ大学アートギャラリー(マサチューセッツ、2009年)、アジア・ソサエティ(ニューヨーク、2005年)など。主な国際展にメディアシティ・ソウル2014(ソウル市立美術館)、ドクメンタ13(カッセル、ドイツ、2012年)、シンガポール・ビエンナーレ(2008年/2006年)、第50回ヴェネチア・ビエンナーレ イタリア館(2003年)など多数。



ディン・Q・レ

主な作品

《農民とヘリコプター》

独自にヘリコプターを開発する農民と独学の技術者に焦点を当て、ベトナム戦争のアイコンであるヘリコプターにまつわるベトナム人のさまざまな思いを表現する。

《無題(パラマウント)》「フォト・ウィーピング」シリーズ

ベトナム戦争やハリウッド映画、拾った写真のイメージなどをベトナムのゴザを編む手法で制作するシリーズ。様々なイメージが見る人の位置によって変化する。

《おかえりなさい、サイゴンへ(「ミレニアムにはベトナムへ」シリーズより)》

観光ポスター風の作品の中に、アメリカ人旅行者に向けたブラックジョークが書かれている。

《傷ついた遺伝子》

ベトナム戦争中に使用された枯葉剤の影響による深刻な健康被害に焦点を当てた公共プロジェクト。

《愛国心のインフラ1》

サッカーの試合で売る国旗を載せた自転車。スポーツによって盛り上がる若者の安直な愛国心に作家は疑問の目を向ける。

《バリケード》

フランス植民地時代のベトナムの家具とアルジェリア人のラップ音楽を組み合わせ、人々の抵抗の歴史を視覚と聴覚によって表現する。

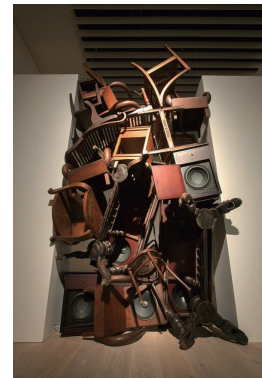


●展覧会カタログ「ディン・Q・レ：明日への記憶」(平凡社)

エッセイ、インタビューそして作品図版を多数掲載。ディン・Q・レの人物像と作品の魅力に迫ります。全国書店およびミュージアムショップで販売。(2,808円(税込))



《愛国心のインフラ1》2009
Courtesy of Elizabeth Leach
Gallery, Portland



《バリケード》2014
Collaborating Artist: Hamé
(Mohamed Bourakba)
展示風景：森美術館(2015)

【同時開催】

●コレクション展 2016- I あふれる「せい」一生、勢、盛、精
2016年2月28日(日)～6月5日(日)

【次回開催】

●特別展 東松照明 一長崎一展
2016年5月28日(土)～7月18日(月・祝)